

「小さな成長に支えられて」

朝、まだ薄暗さの残る時間。布団にわが子を残し、一人で起床する。これが一日の始まりである。子どもが起きる前に、せめて自分の身支度だけでも終わらせておこうと、小さく意気込む。

子どもを育てながら働く日々は、思い描いた通りに進むことばかりではない。朝食の準備をしている最中、「だっこ」と言わんばかりに私の足に巻きついてくるのも、すっかり日課になった。気がつけば、慌ただしい朝の時間はあっという間に過ぎていく。

仕事へ向かう道中では、意識的に仕事モードへと気持ちを切り替える。職場である専門学校では一人の理学療法学科教員としての役割があり、家庭では母としての役割がある。どちらも大切であり、決して容易なことではない。しかし、最近は、すべてを完璧にこなそうとするよりも、目の前のことに丁寧に向き合いながら、一日一日を積み重ねていくことの大切さを感じるようになった。

夕方、子どもを迎えに行くと、満面の笑みでこちらに手を伸ばしてくる（図1）。ほんの数時間離れていただけであっても、その間に子どもは確かに成長している。昨日はできなかったことが、今日は少しできるようになっている。そんな小さな変化に気づく瞬間は、忙しい日々の中にある何よりの喜びである。

子育てと仕事の両立は決して楽なものではないが、このような日々の積み重ねは、多くの先輩方が歩んでこられた道でもあるのだろう。周囲の方々からいただく温かな言葉や、さりげない支えに、あらためて感謝の気持ちを抱くことが増えてきた。

慌ただしい毎日ではあるが、このかけがえのない時間を大切にしながら、これからも家族とともに歩んでいきたい。



図1. ご家族のスナップ写真。 Gemini によるイラスト。ご家族の雰囲気がかも示唆されるようにプロンプトを調整して作成した。